



第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：南部 建 / 副会長：前田 眞澄 / 幹事：田中 啓輔

2019～2020 年度クラススローガン

ロータリーの和（輪）を広げよう
社会（ふるさと）に貢献しよう

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：井手 陽一、川島 千鶴、西村 浩輝、崎元 英伸、有吉 中

本日の出席率 93.33%：会員数 49名・出席 36名・欠席 3名・出席規定免除会員 6名・ビジター 1名
前々回の修正出席率 95.83%：出席 37名・メイクアップ 0名・出席規定免除会員 9名



会長挨拶 / 南部 建君



皆様こんにちは、コロナウイルス感染のニュースで皆様は心配されていると思いますがデマ情報が拡散されていますので気をつけてください。お湯を飲むとウィルスに感染しないとか、運動をするとウィルス予防になるなど間違った情報が流れています。予防に一番大事なのは、こまめな手洗い、アルコール消毒、マスクをする事そして人混みを避ける事です、マスクが品薄状態でなかなか手に入らないと思いますが、色々工夫して乗り切るほかありません。

全国では様々な事業やイベントが中止になっています。我々ロータリーも研修やイベントが延期になっています。そして仕事の方でも様々な影響が出ています資材や部品の納品が遅れ工事がストップしている所もあります。これから2～3週間が大きな転換点になるのではないかと思います。皆様も仕事や生活に不自由を感じる事があると思いますが頑張って乗り切りましょう、これからロータリーの事業や研修会などの変更等が生じる場合はみなさまにご案内をさせていただきますのでご協力をお願いします。そして何より感染リスクを回避する行動をお願いします。

そして今日は、親和銀行のデジタル化支援グループの井川様に卓話をお願いしています。皆様の会社で参考にしていただければ幸いです。



本日のビジター紹介

佐世保北ロータリークラブ
小西 研一様



幹事報告 / 田中 啓輔君

1. 来 信

- 国際ロータリー
 - ・国際大会（ハワイ）地区ナイトのご案内
- ガバナー事務所
 - ・クラブ事業・IM等の開催について
- ロータリー米山記念奨学会
 - ・事務局開室時間変更のお知らせ



ニコニコボックス

佐世保北RC 小西 研一様

佐世保北RCの小西です。念のため申し上げますが、武漢を含む海外への渡航歴は一切ございません。本日はよろしくお祈りします。

南部 建会長・前田 眞澄副会長・田中 啓輔幹事

佐世保北RC 小西 研一様佐世保中央RCへご来訪誠にありがとうございます。会員の皆様、本日も例会にご出席を頂きありがとうございます。本日の例会は株式会社親和銀行より井川様をお迎えし、卓話をいただきます。井川様よろしくお祈りいたします。

西村 浩輝君

スポーツウェルネス吹矢の県6支部対抗戦があり、佐世保中央支部は6Mの部優勝と2位、8Mの部優勝と3位、そして団体戦も優勝という成績でしたのでニコニコします。

牛島 義亮君

68回目の誕生祝です。指山さんも68歳までは元気だったと言われていました。同じ道を歩まない様に健康管理に気を付けて頑張ります。

池永 隆司君

先週無事退院できましたのでニコニコします。

浅野 訓一君

結婚記念日のお花ありがとうございました。

野村 和義君、前田 眞澄君

延寿会におきましては、南部会長を始め、親睦委員会の皆

様、そして会員の皆様より身に余るお祝いのお言葉と祝宴を行って頂きありがとうございました。天皇陛下の「まだ還暦」の言葉通り、病人の多い中央 RC の中でまだまだ若い人の足手まといにならない様、ブリブリ言わせて頂きますのでお付き合いの程、よろしくお願いします。

馬場 貴博君

23日の午後11時10分に5人目の孫（女の子）2676 g が産まれました。ニコニコします。

井手 陽一君

誕生日のお祝いありがとうございました。

芥川 圭一郎君

先日娘の受験引率で尾道へ行って来ました。瀬戸内海を満喫しました。また今日は親和銀行の井川さんの訪問を歓迎いたします。祇園小学校 PTA ではお世話になりました。

馬渡 圭一君

佐世保北 RC の小西先生、ご来訪ありがとうございます。いつもお世話になっておりますのでニコニコいたします。あと、池永さん退院おめでとうございます。

本日の合計	24,000 円
本年度の累計	752,000 円



本日の卓話

株式会社 親和銀行
営業推進部デジタル化
支援グループ
部長代理 井川 浩二 様



～ デジタル化で実現する業務改革 ～

本日は、「デジタル化で実現する業務改革」と題しまして、デジタル化を進めることで、日頃の業務がいかに効率化できるか、そして、それを支援する親和銀行の取り組みについてご紹介させていただきます。

Contents

1. そもそも、その会議いますか？
 - そもそも、その会議いますか？
 - SaaS : SFA ツール「カオスマップ」
 - サイボウズ株式会社の業務支援ツール
2. 親和銀行のデジタル化支援
 - 九州の人口推移と企業の業務課題
 - FFG のデジタルに関する取り組み
 - デジタル化支援サービスイメージ
 - 親和銀行のデジタル化支援（動画視聴）
 - 参考図書「デジタル時代のイノベーション戦略」

まず前半は、身近な話題として、皆様も日頃行っていると思います「会議」を取り上げてみました。「働い方改革」が叫ばれる中で、「やってはいけない会議」についてご紹介し、それをデジタルで解決する手段についてご紹介します。社長に言いたくても言えない社員の叫びです。

「そもそも、その会議いますか？」

議題が曖昧なまま会議をしたり、また、思いつきで全く違う話が広がっていくことも多いかもしれません。終わりの見えない会議は社員にとっては苦痛しかありません。やっと会議が終わっても、社員はそこから残業が待っているかもしれません。

「情報を共有するだけの会議ですか？」

情報を共有するだけなら、後からメールなどでお知らせしてもらえれば会議をする必要はないかもしれません。

「価値ある会議ですか？」

会議には人も時間も使います。価値ある会議でなければ、貴重な時間と人件費を浪費するだけになってしまうかもしれません。顔を見ながらじゃないと会議にならない？と思うことはありませんか？大事な議題であれば確かにそうかもしれません。ただ、先ほどもありました「共有だけの会議」であれば、わざわざ離れた拠点から来てもらわなくても。それもコストと社員のストレスになっているはず。TV 会議など、やり方はたくさんあります。

「その人いますか？」

会議に出席して、発言もせずただ聞いているだけの人はいませんか？共有するだけなら、後からお知らせすれば済むこともあるかもしれません。会議に時間だけ費やして、そのあとまた残業。これもコストですね。会議のゴールは明確ですか？これが一番重要です。毎日のミーティング、毎週の定例会議、それぞれ明確な目的がなければ開催は NG です。



会議によって達成したいことは明確ですか？そうでなければ開催は NG です。共有するだけの会議ですか？デジタルツールの活用を検討してみましょう。会議の議題は明確ですか？議題に合わせた時間設定ができていますか？必ず事前準備を行いましょう。何となくで時間を設定してはいけません。先ほどから、デジタルツールを活用しましょうと何度か申し上げていますがここでは、SaaS (サース)、SFA ツールのカオスマップを紹介しています。SaaS とは、IT ベンダーが提供するクラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネット経由してユーザーが利用できるサービスのことを言います。SFA とは、営業支援に活用できるデジタルツールのことを言います。ここには、インターネット上で営業支援を行うサービスを掲載していますが、今、この世の中にはこれだけ多くのサービスが運営されていて、中小企業を含めた多くの企業が採用しています。



左下の赤枠の部分は、グループウェアと呼ばれるサービスで、先ほどの会議の話で行くと「情報を共有する」ことを支援してくれるデジタルツールになります。右上の赤枠は、主に「テレビ会議」が行えるツールです。多額の設備投資をしなくても、インターネット上のサービスを利用することで、手軽に TV 会議が行えます。中には無料で使えるサービスもたくさんあります。



上段の「サイボウズ office」はグループウェアと呼ばれるサービスです。例えば社員の皆さんのスケジュールを共有したり、稟議書を紙ベースからシステム上で決済するなど、主に社内の情報共有に役立つサービスです。全国で上場企業から中小企業まで 65,000 社が採用しています。月額利用料がひとりあたり月額 500 円と非常に安く利用できることも特徴の一つです。



下段は「kintone」というビジネスアプリ作成クラウドです。高額なシステムを導入しなくても、業務にあったアプリを自由に作成できるというサービスになります。例えば、毎日の業務日報や報告書、車両や人事管理など、エクセルで管理している業務をシステム化するのに便利なサービスです。10,000 社を超える企業がすでに導入し、こちらも月額 1,500 円と非常に安価です。どちらのサービスもインターネットのクラウド上にデータが保管されるため場所を選ばず、パソコンでもスマホでもタブレットでも、いつでもどこでも確認、作業をすることが可能です。特に出張が多い社長様などであれば、出張先でも稟議の決済ができたり営業情報の確認ができ、経営判断が迅速にできるなどの効率化が実現します。

ここからは、親和銀行での取組みについてご説明させていただきます。4 月からサービスを開始しました、「デジタル化支援コンサルティング」というサービスですが、簡単に申し上げますと、お客様の日頃の業務の効率化のお手伝いをさせていただくということになります。そこに、必要であればデジタルの力を活用していこうというものです。「DX」や「デジタルイノベーション」といったような大きな変革を目指すものではなく、まずは身近なところから、「デジタル」に触れ、業務の効率化につなげよう。そういったことをサポートさせていただくサービスでございます。我々が住む長崎県の人口の減少が九州でも著しい状態です。長年叫ばれている、人手不足に更なる拍車がかかることとなります。

このように人口減少が進んでいく中で、県内企業様は右図にありますように、「属人的な事務手続」、「紙主体の報告業務」、「複数店舗・拡大したエリアの管理」等、様々な課題を抱えていらっしゃると思います。企業様が抱える様々な悩み、課題を解決に向かっていただくように FFG としては様々な経営資源をご準備しております。まず我々、デジタル化支援 G がご提供するサービスは上の赤線で囲まれた部分になります。情報共有、会計事務、勤怠管理という間接業務をクラウドツール、サービスを用いて、企業様で円滑な業務を行っていただき、生産性の向上に寄与できればと考えております。まずはお客様と一緒に業務の課題を現状を分析させていただき、課題を抽出し、それをどのように解決するか、必要によっては IT ツールの導入を計画致します。その計画に基づき、IT ツールの導入から運用サポートまでをコンサルティングさせていただきます。

我々デジタル化支援 G がご提供するサービス以外にも、取引先企業様同士のビジネスマッチング、大学と連携による地域活性化等の様々なご提案を準備しており、県内企業様のバックアップを全力で行きたいとかがえております。

IT で解決できる企業様の悩み、課題は多数あります。解決したい業務、効率化した業務がある場合もお気軽に当行へご相談頂ければと思います。



SAA: 溝上 純一郎君
次回例会／3月5日12：30～